

大宮市環境基本計画に謳われた環境目標の達成度に関する住民意識調査

正会員 金井 章*1
同 三浦昌生*2
同 宮原 剛*3

大宮市 環境基本計画 アンケート

1. はじめに

大宮市環境基本計画では「望ましい環境像」を作るために、市民・事業所・市の連携を必要としている。この環境基本計画では「望ましい環境像」を達成するために、5つの基本目標を掲げている。本研究では、アンケート調査によって、実際の住まい手に対して、それぞれの基本目標が達成されているかを聞くことで、環境基本計画の進行管理の基礎資料を得ることを目的とする。

2. 大宮市環境基本計画の基本目標

大宮市環境基本計画で提示されている5つの基本目標では、その基本目標ごとに3～4の将来像が示されている(表1)。この基本目標の特徴は、目標とすべき居住環境のあり方を住民にわかりやすく提示している点にある。本研究のアンケート調査では、この環境基本計画の構成を勘案し、それぞれの基本目標および将来像に質問を対応させ、それぞれの達成度を聞いた。

表1 大宮市環境基本計画の5つの基本目標と将来像の数

基本目標	将来像(数)
健康で安心して長く暮らせるまち	4
環境負荷の少ない快適活動都市	3
緑豊かで様々な里地の生き物に出会えるまち	4
四季の変化が感じられる、歩いて楽しいまち	4
みんなが参加してよりよい環境づくりに取り組むまち	3

3. アンケート調査

本研究では大宮市全域(約17万世帯)を対象とし、無作為抽出によって、2000世帯を選出した。アンケート票は、2000年12月に各住戸の郵便受けに直接投函し、同封した返信用封筒によって郵送回収した。回答は602世帯(回収率30%)から得られた。回答者は60歳代が最も多く29%で、男女比は概ね等しかった。アンケート票は、各基本目標や将来像の達成度を選択肢式質問で聞く前にイメージを持たせ易くするために、その事に関連したことを複数回答させている。

4. アンケート集計結果

(1) 健康で安心して長く暮らせるまち

基本目標の「健康で安心して長く暮らせるまち」について達成しているかと聞いたところ、「思う」「やや思う」を合わせた達成している側の回答は34%、「あまり思わない」「思わない」を合わせた達成していない側の回答は46%であった。しかし、この基本目標の将来像である「窓からさわやかな空気が入ってくる」「外が静かでやすらぎがある」では、達成している側の回答の方が多

った。それに比べて、残りの将来像では、達成していない側の回答の方が多かった。さらに、「お住まいの窓を開けたときに気づくこと」を聞いた(複数回答)。最も多かったのは「自動車の音」で、これに「動物や虫の鳴く声」が続く結果となった。

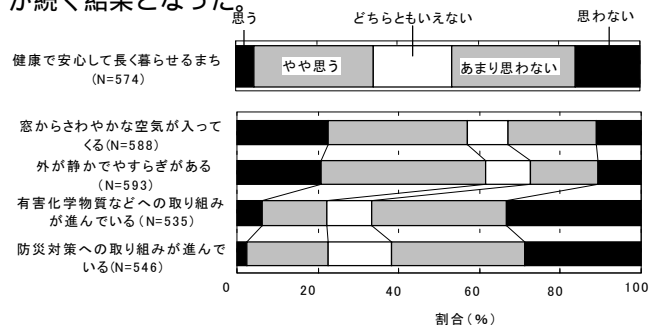


図1 「健康で安心して長く暮らせるまち」の回答

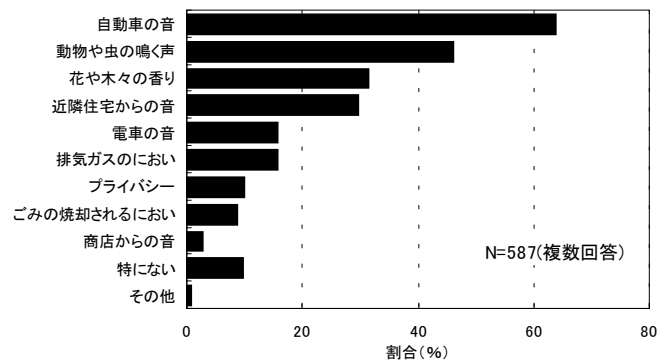


図2 「お住まいの窓を開けた時に気づくこと」の回答

(2) 環境負荷の少ない快適活動都市

基本目標の「環境負荷の少ない快適活動都市」について達成しているかと聞いたところ、達成している側の回答は15%、達成していない側の回答は68%になった。この基本目標の将来像の2項目では達成していない側の回答の方が多かった。さらに、「お住まいの地域の交通体系はどのようになっているか。」を聞いた(複数回答)。「公共交通が充実している」の回答は5割を超えた。

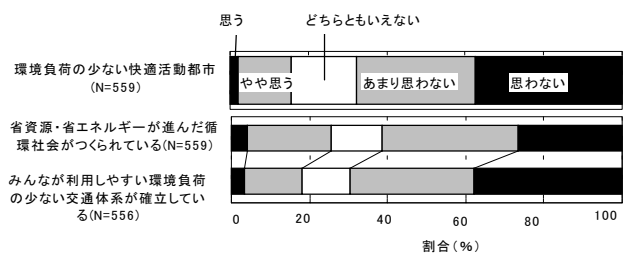


図3 「環境負荷の少ない快適活動都市」の回答

A Survey on Awareness concerning the Degree of Achievement about Environmental Targets of the Basic Environmental Plan in Omiya City

KANAI Akira, MIURA Masao and MIYAHARA Go

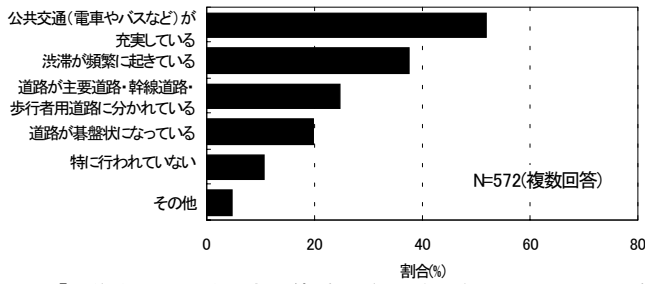


図4 「お住まいの地域の交通体系はどのようになっているか」の回答
(3) 緑豊かで様々な里地の生き物に出会えるまち

基本目標の「緑豊かで様々な里地の生き物に出会えるまち」について達成しているかと聞いたところ、達成している側の回答は32%、達成していない側の回答は49%であった。しかし、この基本目標の将来像の2項目では達成している側の回答の方が多かった。

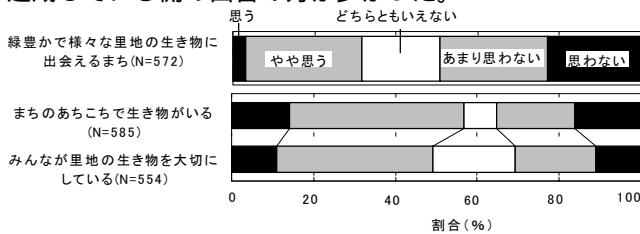


図5 「緑豊かで様々な里地の生き物に出会えるまち」の回答

(4) 四季の変化が感じられる、歩いて楽しいまち

基本目標の「四季の変化が感じられる、歩いて楽しいまち」という目標について達成しているか聞いたところ、達成している側の回答は26%、達成していない側の回答は58%であった。この基本目標の将来像である「まちが緑でつながっている」では、達成している側の回答の方が多かった。それに比べて、他の将来像では達成していない側の回答の方が多かった。つまり、住民は、まちに緑が多く存在するが、景観を楽しむなどの緑と触れ合う空間が少ないと感じていることになる。

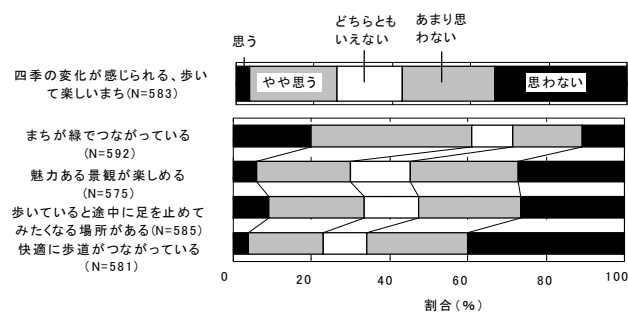


図6 「四季の変化が感じられる、歩いて楽しいまち」の回答

(5) みんなが参加してよりよい環境づくりに取り組むまち

基本目標の「みんなが参加してよりよい環境づくりに取り組むまち」について達成しているかを聞いたところ、達成している側の回答は19%、達成していない側の回答は58%であった。この基本目標の将来像の3項目すべて

達成していない側の回答の方が多かった。

なお「環境について自主的に学び、考え、行動するための仕組みが充実している」は、すべての基本目標・将来像のなかで、達成している側の回答が14%と最も少なかった。

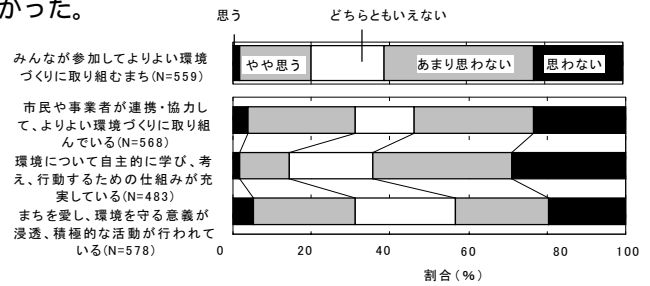


図7 「みんなが参加してよりよい環境づくりに取り組むまち」の回答

5. まとめ

すべての基本目標、将来像(20項目中)で15項目は達成していない側の回答が多かった。達成している側が多かったのは5つの項目で、「窓からさわやかな空気が入ってくる」「外が静かでやすらぎがある」「まちのあちこちで、生き物がある」「みんなが里地の生き物を大切にしている」「まちが緑でつながっている」である。これらに共通しているのは“自然環境”について言及されていることである。また、基本目標の「環境負荷の少ない快適活動都市」「みんなが参加してよりよい環境づくりに取り組むまち」と、それに関連するすべての将来像では、達成していない側の回答の方が多かった。“交通体系”に関しては、自由記述欄での回答にも数多く書かれていて関心の高さが見られる一方で、公共交通は充実していると感じており、「環境負荷の少ない快適活動都市」の実現には、スプロール化を防ぎコンパクトな町並みを形成することが、公共交通の整備には有効であり、こうしたコンパクト化が住民意識からみて望ましいといえる。

今回の調査を第1回とし、4年ごとなど定期的にアンケート調査を行うことで達成度の推移を調べ、大宮市の環境の重点的な問題点を抽出する事が望まれる。

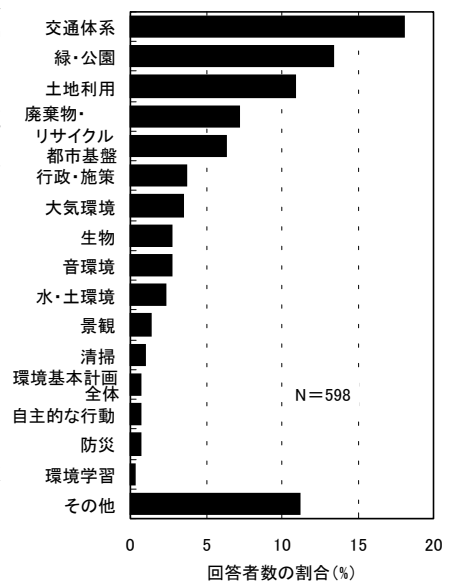


図8 自由記述欄の分野別集計結果

* 1 芝浦工業大学大学院修士課程

* 2 芝浦工業大学教授 工博

* 3 株式会社八州(当時芝浦工業大学学部生)